

Rocky work tool

RWシリーズ 取扱い説明書

【ホンダ】N-VAN(JJ1.2系)
[G/L/STYLEFUN/ハイルーフ専用]

品番 / RW-16J <マルチレール>

この度はロッキーワークツール「RWシリーズ」をお買い上げいただきありがとうございます。
常に安全な状態で、ご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上ご使用ください。

尚、販売店にて本製品を取付けられましたら、本書を必ずお客様にお渡しください。

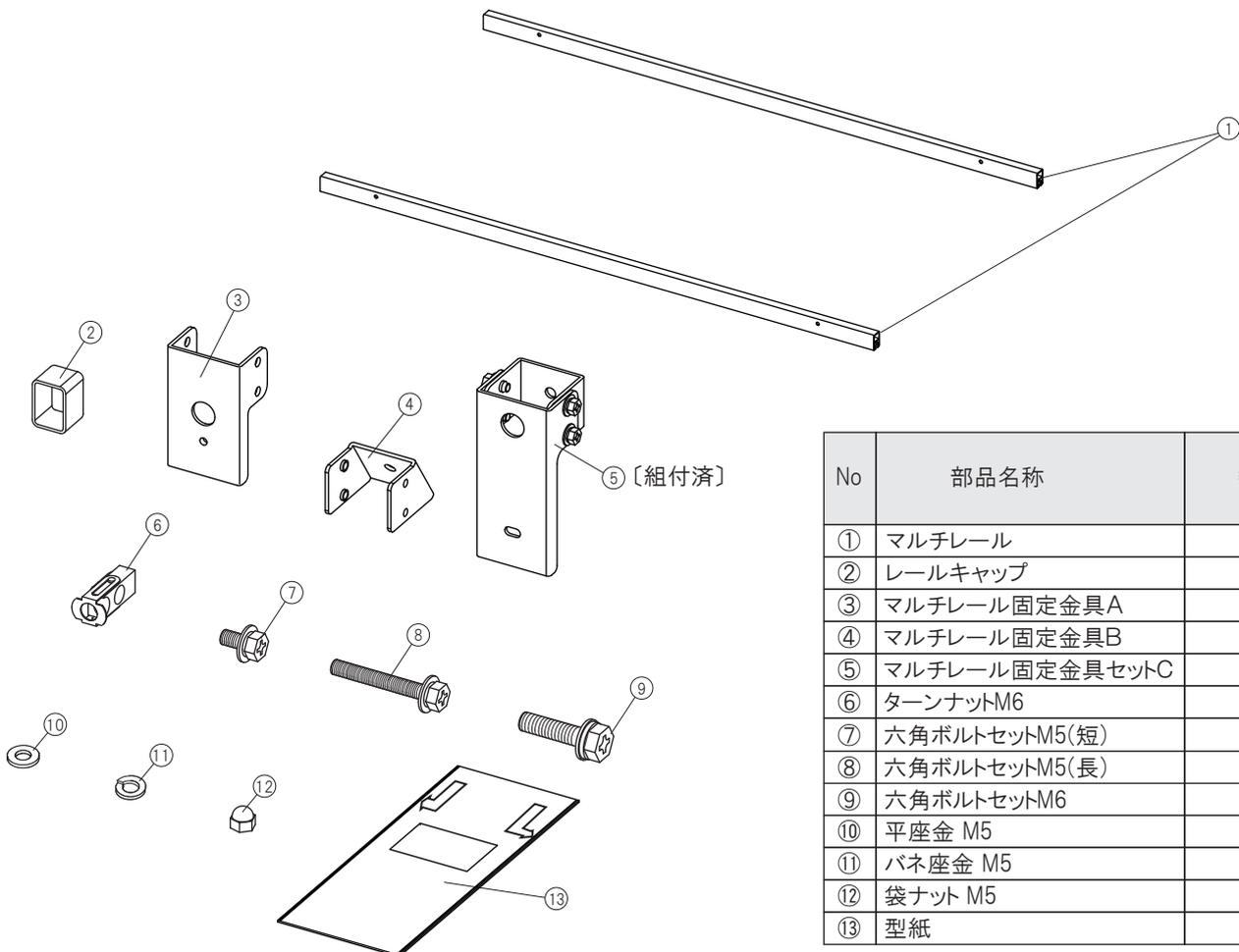
製品(組立て、取付け等)についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。
誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

ご使用前に

- 本製品は、【ホンダ】N-VAN(JJ1.2系) “ハイルーフ専用”となります。
取付けを行う車両が上記に該当しているかの確認を行ってください。他の車種には取付けできません。
- 本製品はRW-10J(インナーキャリア)/RW-12E(ラゲッジバー)/RW-13E(ハンガーバー)を取付けるためのベースレールとなります。
- 本製品の取付けには、**内張り(ルーフライニング)の側面を部分的にカットします。(前後左右4ヶ所)**
- 本製品の取付けには「+ドライバー」「8mmスパナ」「カッターナイフ」「セロテープ」「マスキングテープ」「極細マジック」「三角定規」をご用意していただきますようお願いいたします。

構成パーツ

- 構成パーツは検査済みですが組立てを行う前に必ず、ご確認をしてください。



No	部品名称	数量
①	マルチレール	2
②	レールキャップ	4
③	マルチレール固定金具A	2
④	マルチレール固定金具B	2
⑤	マルチレール固定金具セットC	2
⑥	ターンナットM6	2
⑦	六角ボルトセットM5(短)	8
⑧	六角ボルトセットM5(長)	4
⑨	六角ボルトセットM6	4
⑩	平座金 M5	2
⑪	バネ座金 M5	2
⑫	袋ナット M5	2
⑬	型紙	1

シグナルマークについて

- シグナルマークは危険のレベルを表します。
それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で、必ず記載の注意事項を守ってください。

- △危険—取扱いを誤った場合に、**死亡、重傷の危険が発生します。**
- △警告—取扱いを誤った場合に、**死亡、重傷の危険が発生する可能性があります。**
- △注意—取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

マルチレールの耐荷重

マルチレール(RW-16J)

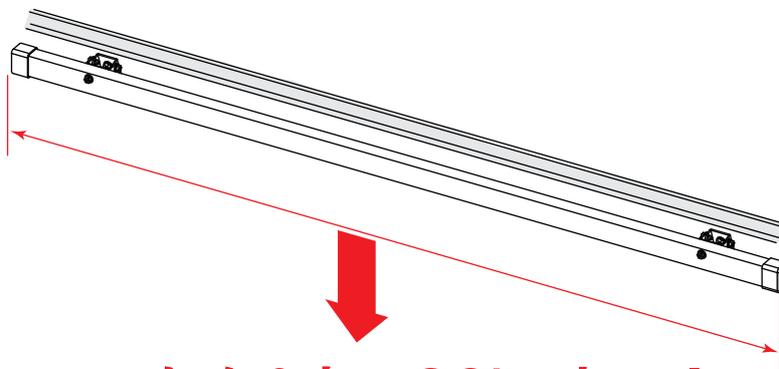
最大耐荷重：30kg

マルチレール(RW-16J)の耐荷重は**30kg**となります。
RW-10J(インナーキャリア)と、RW-12E(ラゲッジバー)を同時取付けする場合は積載物の合計が【**30kg**】を**超過しないよう**注意してください。

(注) ハンガーバー(RW-13E)の同時取付けはできません。

品番	商品名	最大積載重量
RW-10J	インナーキャリア	15kg
RW-12E	ラゲッジバー(1セット2本入)	20kg(1本/10kg)

※積載重量は30kgまでとなります。



左右2本で30kgまで！

取扱い上の注意

- △注意 最大積載重量を守り、過積載は絶対に行わないでください。
→過積載をしますと、脱落や破損だけでなく車両の変形、積載物落下等の原因になります。
- △注意 レール取付後、初期ユルミが発生しますので、定期的に各締め付け部にユルミが無い点検してください。
→締め付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。
- △警告 本製品の改造は絶対に行わないでください。本製品の改造による事故責任は一切負いかねますのでご了承ください。
【例】・部品類の穴あけ及び溶接 ・本製品以外の部品による組立て及び部品交換
- △警告 部品不足での使用は絶対に行わないでください。

部品交換について

- 部品を破損、紛失された場合は、ご使用の品番及び「本書」の構成パーツ表の各部品名にてお買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。

事故が起きた時は

製品の欠陥等により万が一事故が発生した場合は、速やかに販売店または弊社までご連絡ください。事故対応をスムーズに行うためにも、お客様に以下のことをご用意して頂く必要があります。

(1)事故製品の確保—事故発生時のままの状態のもの(製品をバラバラにしない)

(2)損害の内容—損害を受けた現物、また損害を証明できるもの

(3)事故発生状況—日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出

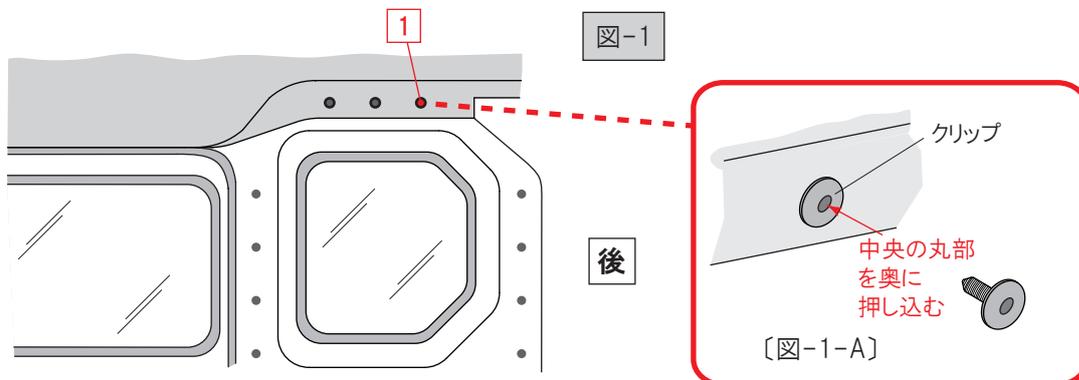
(事故、紛失届)(いつ、どこで、何が、どのように)

*お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

取付け方法①

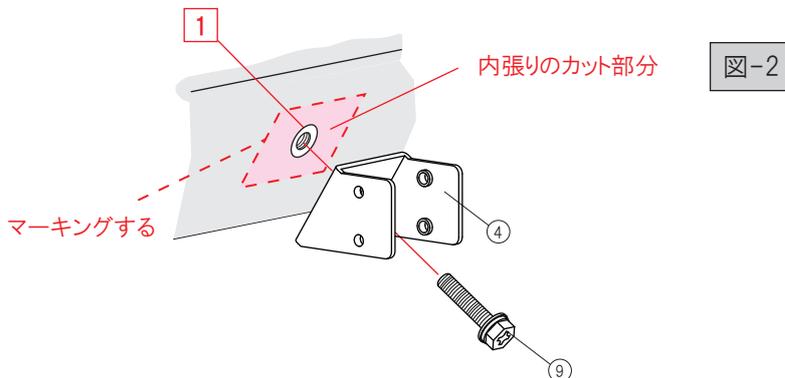
- 荷室後方の上部側面に装備されている、**1**のユーティリティナット最後部のクリップを外します。〔図-1〕
外し方は、クリップの頭部中央の丸部分を+ドライバー等の先端で奥に押し込み後、外します。(左右各1ヶ所)〔図-1-A〕

△注意 取外したクリップは大切に保管しておいてください。



- クリップを外した、**1**のナット部周辺の内張りをカットします。
④マルチレール固定金具Bの上下の向きに注意して、⑨六角ボルトセットM6にて手で軽く仮止めし、④マルチレール固定金具Bの接地面の外周を極細マジックでなぞってマーキングしてください。(線を引く) その後、仮止めの④マルチレール固定金具Bを取外し、マーキングしたカット部分をカッターナイフで取り除いてください。(左右各1ヶ所)〔図-2〕

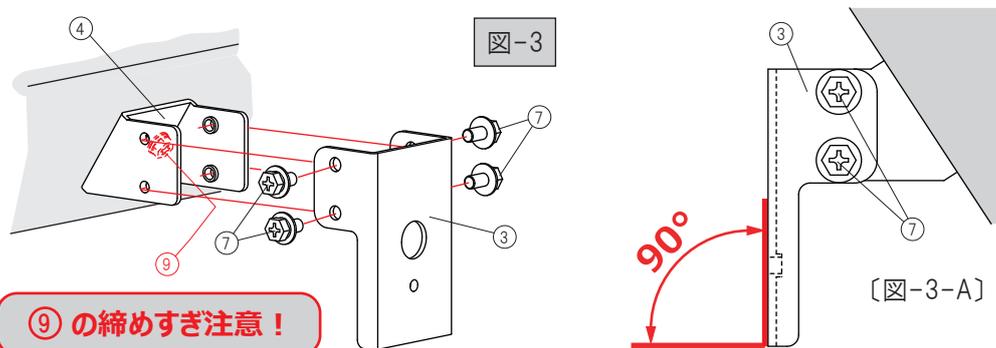
△注意 内張りをカッターナイフでカットする際は、奥の車両パネルまで切らないようにゆっくりと、慎重に行ってください。ポイントは、1回で行わず数回(5~6回)に分けて、なぞるように徐々にカットする事をお勧めします。



- 内張りのカット後、再度④マルチレール固定金具Bを取付け、⑨六角ボルトセットM6にてしっかりと締付けます。その後、④マルチレール固定金具Bに③マルチレール固定金具Aを被せて、横から⑦六角ボルトセットM5(短)でしっかりと締付けます。〔図-3〕締付けの際は、後方から見て③マルチレール金具Aが垂直(90度)になっているかの確認を行ってください。〔図-3-A〕(左右各1ヶ所)

△注意 ⑨六角ボルトセットM6の締め過ぎによりボルトが破損する恐れがあります。締付けにはゆっくりと慎重に行ってください。締付けの目安はバネ座金の口が閉じてから90度程度回るぐらいです。〔参考締付トルク 5.0N・m(0.5kgf・m)〕

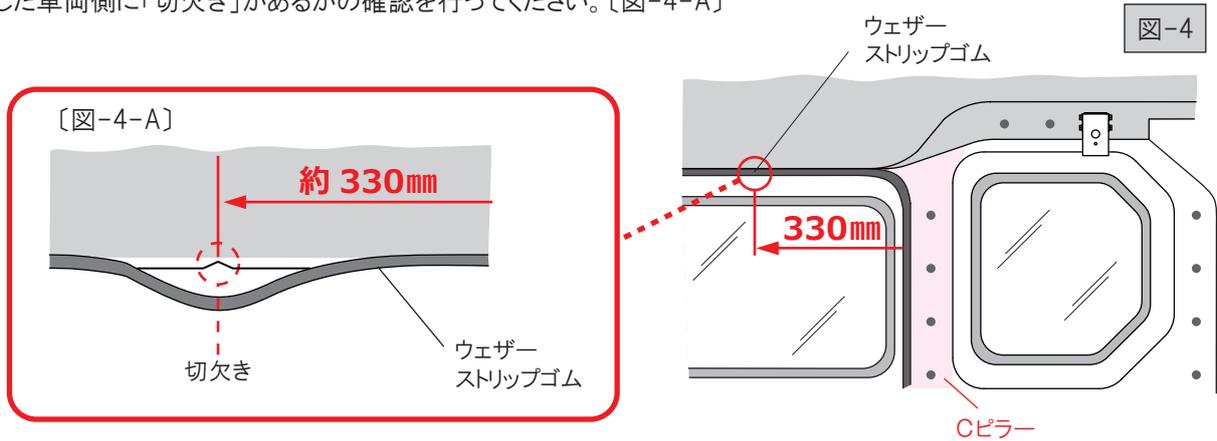
△注意 ⑦六角ボルトセットM5(短)を締付時、ドライバーで締めにくい場合は“ハンドスパナ8mmを”利用して少しずつ締付けてください。



⑨の締めすぎ注意!

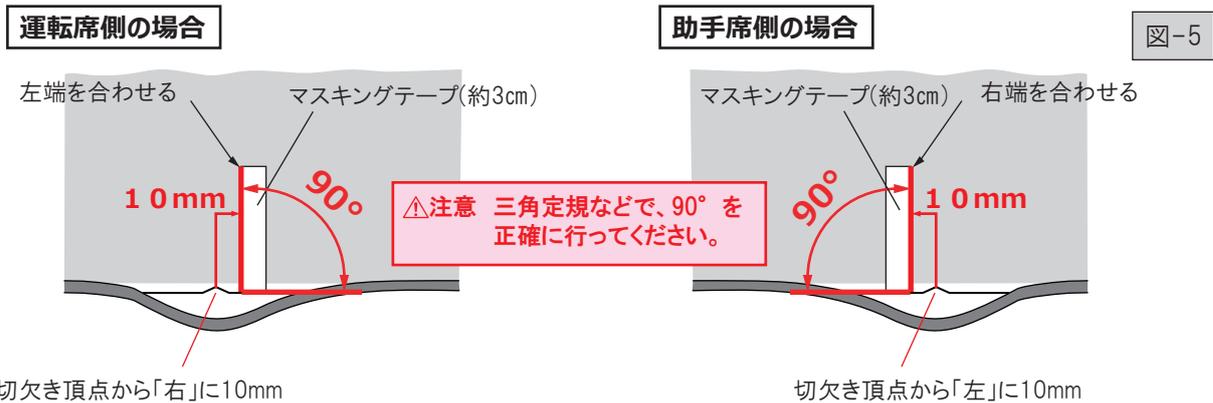
取付け方法②

4. ⑤マルチレール固定金具セットC(前用)を取付けるために内張りをカットします。
Cピラーより前方の「330mm」の所のウェザーストリップゴムを部分的に外します。〔図-4〕
外した車両側に「切欠き」があるかの確認を行ってください。〔図-4-A〕



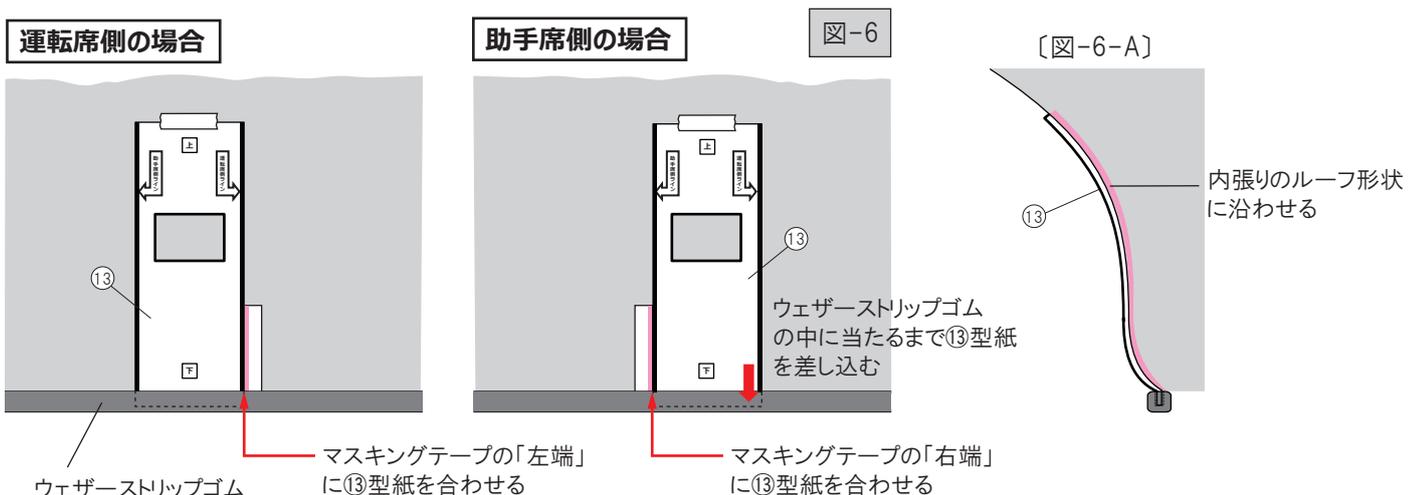
5. 【運転席側の場合】
切欠きの頂点から「右」に10mmの所に「マスキングテープ(約3cm)」の「左端」を合わせ、上に垂直に内張りに貼り付けます。
【助手席側の場合】
切欠きの頂点から「左」に10mmの所に「マスキングテープ(約3cm)」の「右端」を合わせ、上に垂直に内張りに貼り付けます。
〔図-5〕

ポイント：内張りの中は空洞のため内張りを変形させないように行ってください。



6. マスキングテープを貼った状態で、ウェザーストリップゴムを元に戻します。
【運転席側の場合】
マスキングテープ左下のウェザーストリップゴムの中に⑬型紙の「下」が当たるまで差込み、マスキングテープの左端に⑬型紙を合わせ、〔図-6〕内張りのループ形状に沿わせた状態でテープ等で⑬型紙を固定してください。〔図-6-A〕
【助手席側の場合】
マスキングテープ右下のウェザーストリップゴムの中に⑬型紙の「下」が当たるまで差込み、マスキングテープの右端に⑬型紙を合わせ、〔図-6〕内張りのループ形状に沿わせた状態でテープ等で⑬型紙を固定してください。〔図-6-A〕

△注意 ⑬型紙は1枚となります。作業を行う際は、「運転席側」「助手席側」それぞれで行ってください。

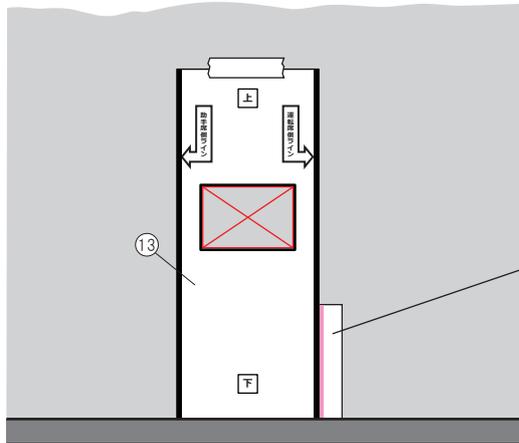


取付け方法③

7. ⑬型紙の固定後、角穴の内側を極細マジックでなぞってマーキングし、(線を引く)その角穴の対角線を結んでクロスラインを引きます。〔図-7〕
 マーキングが終わったら、⑬型紙を静かに外し、クロスラインに沿ってカッターナイフで切り込みを入れ4分割にします。〔図-7-A〕

△注意 クロスラインをカッターナイフでカットする際は、ゆっくりと、慎重に行ってください。
 ポイントは、1回で行わず数回(5~6回)に分けて、なぞるように徐々にカットする事をお勧めします。

運転席側の場合



助手席側の場合

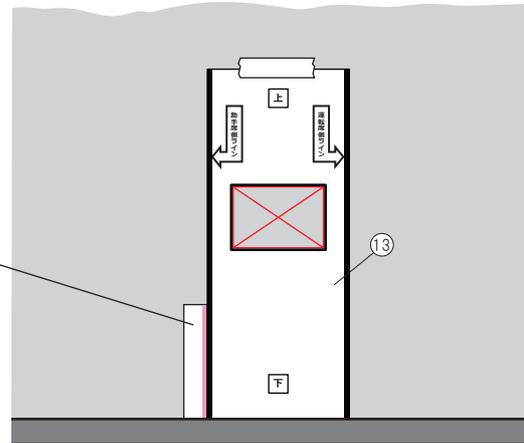
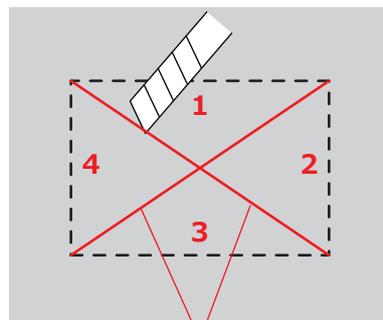


図-7

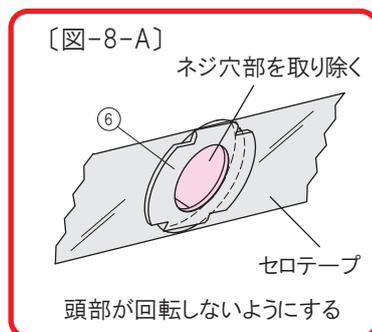
△注意 クロスの4分割で切ります。四角穴にしないでください。



〔図-7-A〕

クロスライン(切る)

8. クロスカットして4分割された内張りを中に押し込み、正面の車両パネルに丸穴(φ10)があるかの確認を行ってください。〔図-8〕
 ⑥ターンナットM6の頭部にセロテープを貼り、丸穴(φ10)に差込み、頭部が回転しないように(空回り防止)車両に貼り付け固定します。固定後、⑥ターンナットM6のネジ穴部を、カッターや先の尖った物で取り除いてボルトが通る状態にしてください。〔図-8-A〕



〔図-8-A〕

ネジ穴部を取り除く

⑥

セロテープ

頭部が回転しないようにする

丸穴(φ10)

図-8

⑥

セロテープ

取付け方法④

9. ウェザーストリップゴムを先程よりも広範囲に外します。〔図-9〕
内張りを⑤マルチレール固定金具セットCが入るくらい開くようにします。〔図-9-A〕

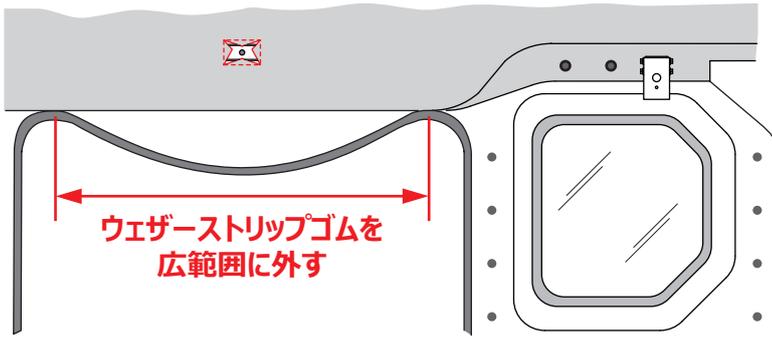
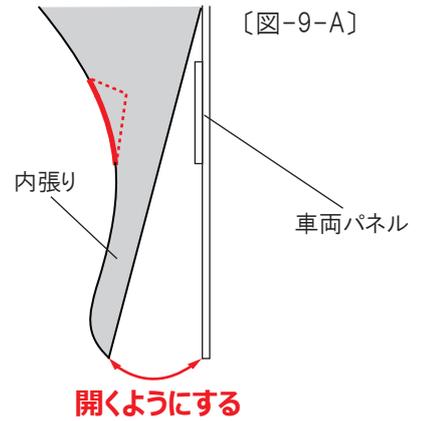


図-9



10. 内張りの開いた隙間から⑤マルチレール固定金具セットCを向きに注意して入れ、クロスカットした穴から金具の先を出し、回転させながら、前面を出します。〔図-10〕
この時、クロスカットしたサイドの内張り(図-7-A/2・4)は内側に入れ整えてください。

△注意 ⑤マルチレール固定金具セットCを内張りの中に入れる際は、必要以上に内張りを開くと「しわ」が入る恐れがあるため、最小限に注意しながら作業を行ってください。

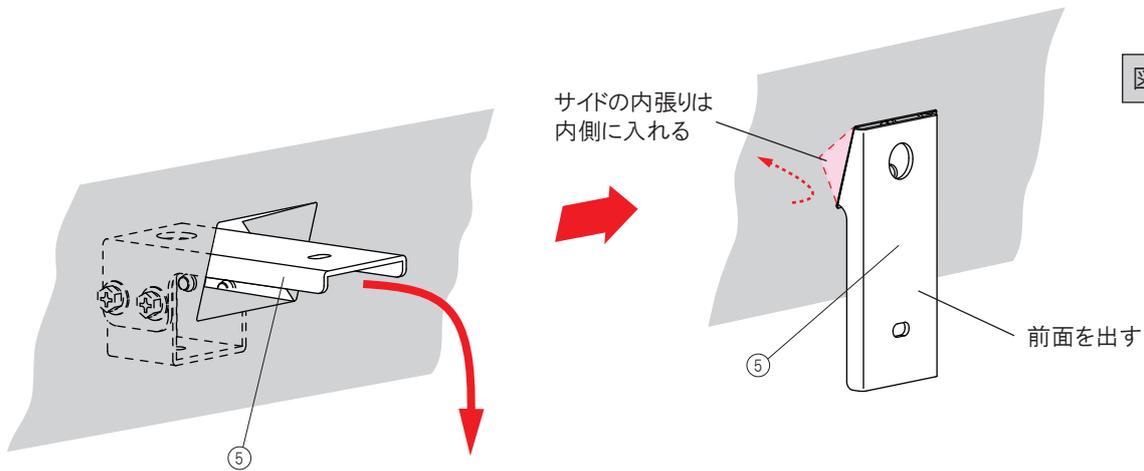


図-10

11. ⑨六角ボルトセットM6の頭部を+ドライバーで誘導しながら、⑤マルチレール固定金具セットCの丸穴へ通し、⑥ターンナットM6に締付けます。⑥ターンナットM6のしくみは、⑨六角ボルトセットM6の先で⑥ターンナットの穴を軽く押すと中のナット部が90度回転します。〔図-11-A〕90度回転したら、⑨六角ボルトセットM6で押しながら一度1~2回逆転させ(左回り)ナット部のネジ山がかみ合ったら、正転(右回り)させてゆっくりと締付けます。ナット部が手前に引き寄せられ締結されます。

△注意 ターンナットM6のしくみ〔図-11-A〕を理解の上、締付けを行ってください。

△注意 ⑩六角ボルトセットM6の締め過ぎによりボルトが破損する恐れがあります。締付けにはゆっくりと慎重に行ってください。締付けの目安はバネ座金の口が閉じてから90度程度回るぐらいです。〔参考締付トルク 5.0N・m(0.5kgf・m)〕

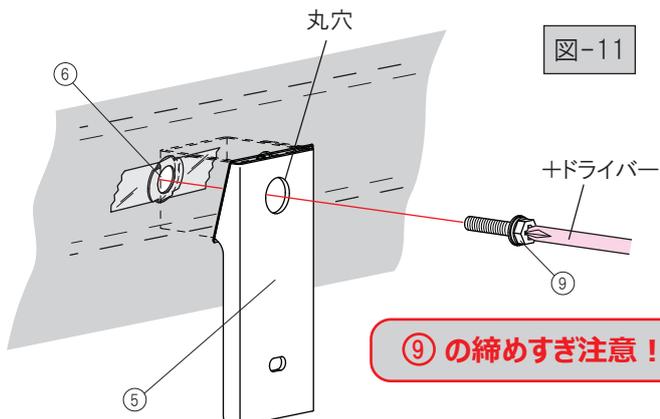
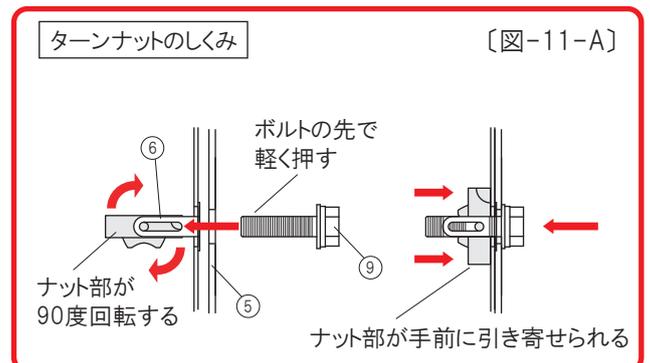


図-11

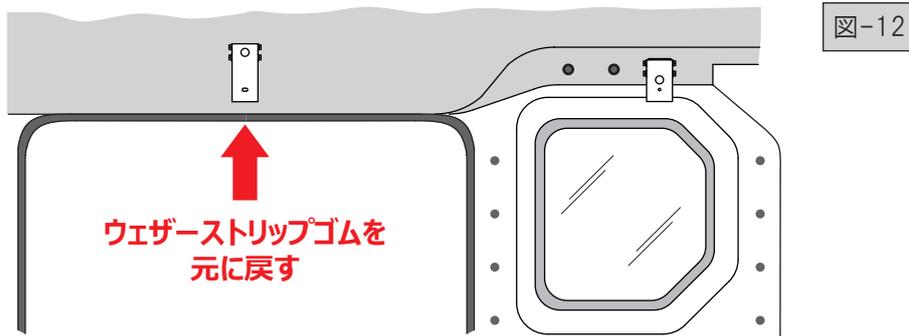
⑨の締めすぎ注意!



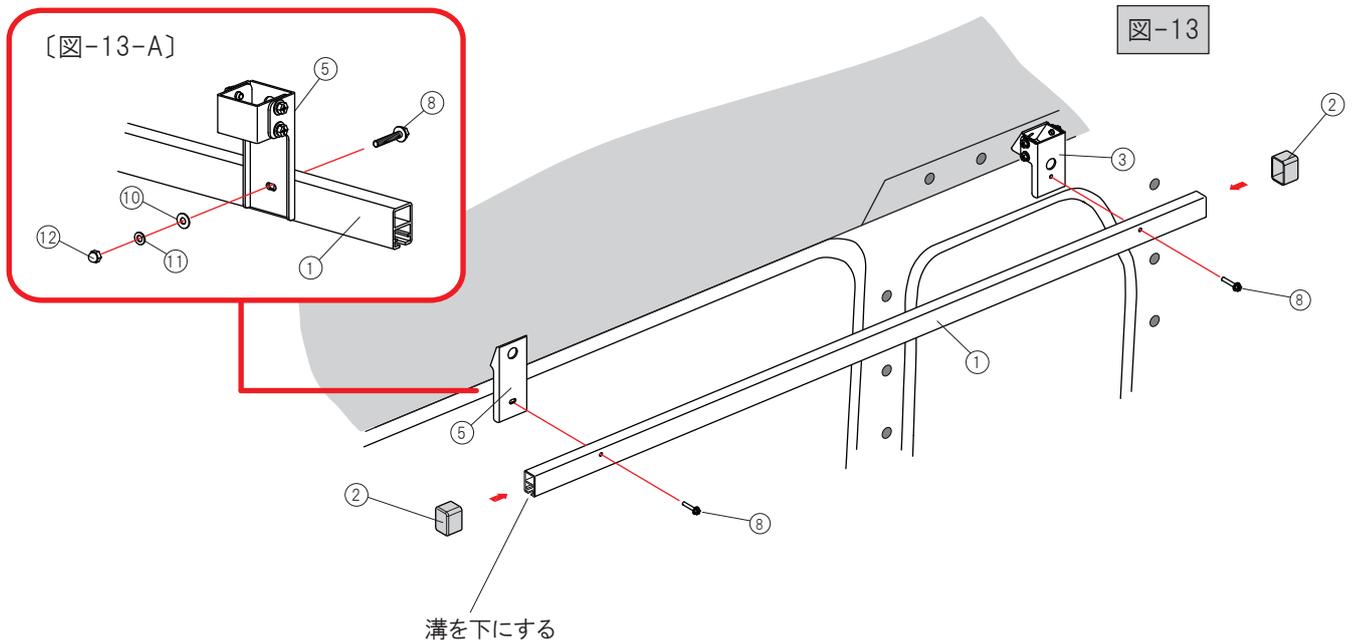
〔図-11-A〕

取付け方法⑤

12. 内張りを閉じ、ウェザーストリップゴムを元に戻します。〔図-12〕



13. ①マルチレールの両端に②レールキャップを被せます。〔図-13〕
①マルチレールの溝が下になるように向きに注意して、初めに後方の③マルチレール固定金具Aのネジ部に⑧六角ボルトセットM5(長)を丸穴に通し仮止めします。
次に、前方の⑤マルチレール固定金具セットCの長穴に⑧六角ボルトセットM5(長)を通し、金具の裏から、⑩平座金M5、⑪バネ座金M5、⑫袋ナットM5の順でしっかりと締付けます。
その後、後方で仮止めの③マルチレール固定金具Aもしっかりと締付けます。(左右各2カ所) 〔図-13-A〕



14. 取付け終了後、①マルチレールを上下左右に揺すり、ガタツキが無いことを確認してください。
ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。

△注意 — マルチレール取付け後、初期段階では走行によるユルミ、ドアの開閉によるユルミ、が発生します。必ず定期的に増し締めを行い状態を確認してください。

Rocky⁺ ロッキープラス株式会社

〒463-0025 名古屋市守山区元郷2-107 TEL(052)778-7876 FAX(052)778-7718

HP <https://www.rocky.ne.jp> **E-mail** rocky@rocky.ne.jp